

局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等 安全対策の手引き(案)の概要

基本的な考え方

1. 予防対策の重視
2. 危機に際しての人命尊重
3. 危機管理意識の徹底
4. 現場特性に応じた安全対策の確立

局地的な大雨に関する
気象予測の現状等

実施すべき安全対策

○安全管理計画の作成と実施

- (発注者)以下の安全対策を定めるよう仕様書等へ明記
- (請負者)安全対策の具体的な内容を施工計画書等へ明記

1. 現場特性の事前把握

2. 中止基準・再開基準の設定(予防対策)

- 標準的な中止基準を踏まえた、現場特性に応じた中止基準の設定
中止基準の例) 「工事箇所又は上流に注意報・警報又は降雨・雷の発生時」
- 気象情報、大雨の予兆等を活用した中止の判断
大雨の予兆の例) 「急に黒い雨雲が迫っている」 等

3. 迅速に退避するための対応

- 退避手順 : 退避ルート等の設定、避難訓練の実施
- 安全器具等の配置 : 適切な増水緩和・流出防止策の実施
- 情報収集と伝達方法 : 管渠内作業員への確実な情報伝達体制
- 資機材の取扱い : 退避に支障となる資機材の存置

4. 日々の安全管理の徹底

○平時からの安全対策の取組み

- 講習等を通じた危機管理意識の向上、ヒヤリハット事例等の蓄積と活用

※ 対象工事:雨水が流入する下水道管渠内に作業員が入抗して行う作業全般(工事・調査・点検・清掃等)